

日本ダウン症協会 宮城仙台支部 **どんぐりの会** 主催

- 講演 -

ダウン症のある子どもを たくましく育てる教室実践

～ 理論と実践をつなぐ技とコツ～

講師

佐藤功一先生

(宮城県立光明支援学校教諭)



ダウン症のある子どもたちは、

とても愛嬌があり社交的で人と接する事が好きな子が多く、一般的には接しやすいと

思われがちですが、実はちょっとしたことで本人の気持ちと周囲の思いが行き違って、突然動かなくなってしまったり頑固に拒絶したりして、まわりが戸惑うことも少なくありません。

ダウン症のある子たちと接する時に、支援者として知っておいた方がよい点や接し方のコツを、ダウン症のある子どもたちの教育に長年関わってこられた、佐藤功一先生のお話を聞いて、一緒に考える機会にしてみませんか。

日時

11月29日(日)
10:00～12:00
(受付 9:30～)

場所

仙台福祉プラザ 2F
ふれあいホール
仙台市青葉区五橋 2 丁目 12-2
022-213-6237

対象

定員 300 人
ダウン症のある子ども(人)と
関わる人(家族・教員・支援施設職員等)

参加費

無料

後援

宮城県、仙台市、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、宮城県福祉協議会、仙台市福祉協議会、日本ダウン症協会、仙台市発達支援センター(アーチル)、さかいたけお赤ちゃんこどもクリニック、宮城県手をつなぐ育成会、仙台市手をつなぐ育成会

講師紹介

佐藤 功一 先生



初任校の小学校で受け持った腎疾患の女子児童との出会いがきっかけで、特別支援教育にかかわり始める。「学校現場で使えるかどうか」という視点に強くこだわりながら、障害児の効果的な指導法探求・教材開発をライフワークに実践研究に取り組んでいる。全国の特別支援学校のダウン症児の担任教師に実施した意識調査の分析結果と、自らの教室での実践をまとめた「ダウン症児をたくましく育てる教室実践」(田研出版)を2013年6月に出版。2012年からはICT実践にも取り組み、授業だけでなく、子どもを支援する教師の有効なツールとしてICTの可能性を追及している。企業と共同開発したアプリは、(財)コンピュータ教育推進センター「ICT夢コンテスト2013」でCEC奨励賞(研究代表者)を受賞したほか、デジタル教科書教材協議会の「先導先生」として事例紹介されている。

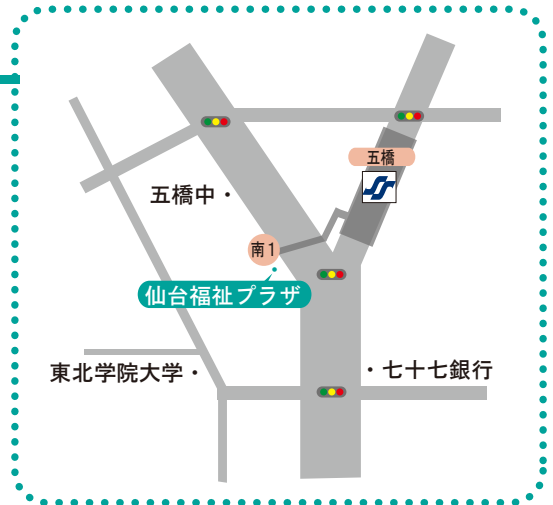
<http://ditt.jp/teacher/>

仙台福祉プラザ

www.shakyo-sendai.or.jp/n/aboutus/plaza

〒980-0022 仙台市青葉区五橋 2丁目 12-2 **022-213-6237**

- 交通** ・ 仙台市営地下鉄南北線 **五橋駅 南1出口 徒歩1分**
・ 宮城交通バス・仙台市営バス「福祉プラザ前」



佐藤功一先生講演会 お申込み

FAX

下記項目にご記入の上、お申込みください。

022-307-6777 (武田宛)

該当する方に をお付けください。

会員

非会員

お名前(ふりがな):

所属・ご職業など: 教員(校種:) 児童デイサービス職員
 福祉作業所等施設職員 保育所・幼稚園
 医療関係 保護者・家族
 その他()

連絡先(電話番号など):

参加人数: 人

E-mail donguritake@yahoo.co.jp

上記のFAX申込書と同様、お名前・会員 or 非会員・ご所属・連絡先(電話番号)・参加人数を明記のうえ、上記アドレスまで送信をお願いします。お申込みを受付ましたら、ご返信いたします。返信を受け取れるように迷惑メール設定の解除をよろしくお願いします。

当日参加も受け付けておりますが、準備の都合上、なるべく事前にお申し込みいただきますよう、ご協力よろしくお願いいたします。たくさんのご参加お待ちしております。